

会議録

会議名	第 2 5 回 海津市地域公共交通会議
日時	令和 3 年 6 月 2 2 日（火） 1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 0 0
場所	海津市役所 西館 1 階 大会議室
出席者	委員 2 3 名 事務局 4 名
傍聴人	なし
議題等	報告 1 コミュニティバスの利用状況について 議題 1 令和 2 年度決算について 議題 2 令和 3 年度事業計画及び予算（案）について 議題 3 地域公共交通確保維持改善計画（案）について 議題 4 デマンド停留所の設置について その他

協議・報告事項

副会長に岐阜大学工学部教授 倉内委員、自治連合会長 伊藤委員を指名
監事に海津市議会議長 服部委員、いきいきクラブ海津会長 湯浅委員を指名

報告 1 コミュニティバスの利用状況について

○事務局から説明（資料 1 に基づき説明）

議題 1 令和 2 年度決算について

○事務局から説明（資料 2 に基づき説明）

○原案のとおり承認

議題 2 令和 3 年度事業計画及び予算（案）について

○事務局から説明（資料 3 に基づき説明）

○原案のとおり承認

議題 3 地域公共交通確保維持改善計画（案）について

○事務局から説明（資料 4 に基づき説明）

○委員からの質問・回答、意見等（→事務局回答、⇒他委員回答）

- ・ 2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果（1）事業の目標について、各路線の利用者数は分かるが、負担金や収入はどのようなになっているか。

→令和 2 年度の事業費は、海津羽島線が 3 1 1 2 万円、南幹線が 2 1 0 8 万円、お千代保稲荷線が 1 6 2 万円、デマンド交通は国庫補助を含めない場合約 4 5 0 0 万円となってい

る。デマンド交通は国庫補助として１０８８万円を受けている。収入は、デマンド交通が２６１万円、定時定路線は３路線合計で１０２７万円である。定時定路線の路線ごとの収入は後日示す。

- ・養老鉄道の負担金はいくらか。また、デマンド交通は何台で運行しているか。
→養老鉄道に対する負担金は概算で１億２８００万円である。デマンド交通は５台で運行しており、現在、１日に８０～９０件の利用がある。
- ・３．２．「目標を達成するために行う事業及びその実施主体」に（２）「養老鉄道とコミュニティバスとの乗り継ぎダイヤの調整を実施する」と記載されているが、補助対象系統がデマンド交通のみを対象としているなら直接関係ないのではないか。
→記載内容について精査する。

○原案のとおり承認

議題４ デマンド停留所の設置について

○事務局から説明（資料４に基づき説明）

○原案のとおり承認

５．その他

- ・事務局から令和２年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について説明
- ・岐阜運輸支局から中部地区交通事業者の令和２年度の輸送実績について説明

閉 会